

# ぼくの好きな先生 (2002)

ETRE ET AVOIR  
TO BE AND TO HAVE

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 フランス

色彩 Color

時間 104分

初公開日 2003/09/20

公開情報 ミラクルヴォイス=東京テアトル

## 【キャッチコピー】

ゆっくり、大きくなる

笑ったり、悩んだり、ケンカしたりーフランス中部の小さな学校の先生とこどもたちの日々

## 【解説】

田舎の小さな小学校に通う13人の子供たちと1人の先生の交流を詩情豊かな美しい映像で追ったドキュメンタリー。豊かな自然に囲まれた土地で、退職を控えた先生と先生の教育のもとで成長していく3歳から11歳までの子供たちの素朴な姿を捉えていく。監督は「音のない世界で」のニコラ・フィリベール。本国フランスではドキュメンタリーとしては異例の大ヒットを記録した。

フランス中部、オーベルニュ地方。小さな村の小さな小学校に、今日もまた生徒たちが登校してくる。ここは全学年で13人の生徒と1人の先生しかいないごくごく小規模な小学校。それでも校内は和やかな雰囲気包まれている。子供たちをたった1人で教育するジョルジュ・ロペス先生は、この学校で20年に渡り教鞭を執ってきた。先生は午前中に一番年少の子供たちを教える間、上級生たちには自習をさせるなど、古風ながら心のこもった授業を進めている。そんなある日、ロペス先生はあと1年半で退職することを子供たちに告げた。

## 【クレジット】

監督 ニコラ・フィリベール Nicolas Philibert

製作 ジル・サンドーズ Gilles Sandoz

撮影 カテル・ジアン Katell Djian

ロラン・ディディエ Laurent Didier

編集 ニコラ・フィリベール Nicolas Philibert

音楽 フィリップ・エルサン Philippe Hersant